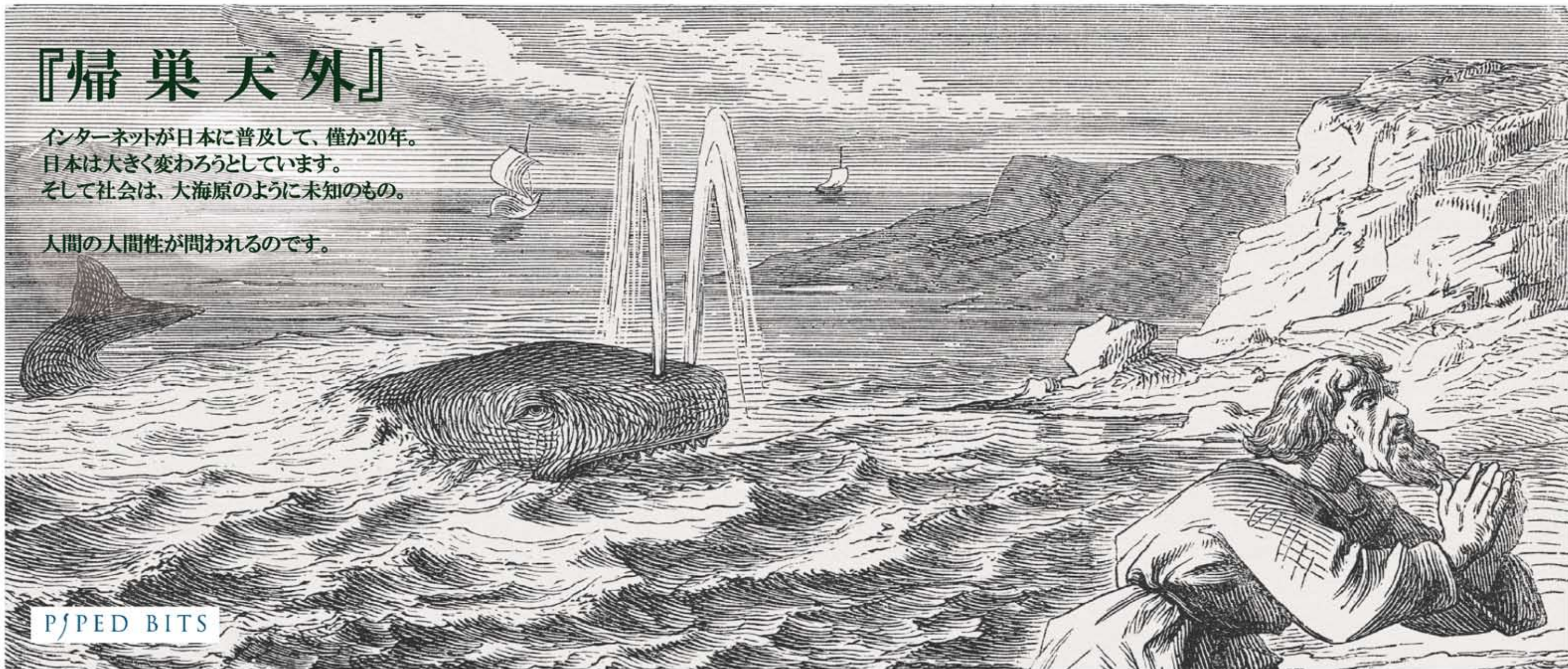


# 『帰巢天外』

インターネットが日本に普及して、僅か20年。  
日本は大きく変わろうとしています。  
そして社会は、大海原のように未知のもの。

人間の人間性が問われるのです。



PSPED BITS

## 『クールジャパン』

昨年末に発足した安倍政権は、今後10年間で国民1人あたりの総所得を現在の385万円から150万円増やすなど、野心的な目標を掲げ、乱気流に採まれながらも順風満帆にみえる。いまや世界語となった「アベノミクス」は、言うまでもなく今年の流行語大賞候補の筆頭だ。

日増しにヒートアップするアベノミクスを熱中症から守るといふ趣旨でも無いだろうが、安倍政権はクールジャパンにも力を入れている。クールジャパン戦略担当大臣を任命し、3月から1回のハイペースでクールジャパン推進会議を開催している。各省に計上されたクールジャパン関連予算は、平成24年度補正で340億円、平成25年度予算では170億円に上る。クールジャパンの中心的なテーマは、アニメやゲームなどのコンテンツや、知的財産の保護、観光、食、人材育成だ。何やら「ポップカルチャー分科会」なるものを立ち上げて海外への発信を強化する方針だとか。そもそもポップカルチャーというものは、その成立の背景からして、国を挙げて海外に発信する類いのものでは無い気がするが…。

日本のクールさを象徴する分野の1つに美容がある。日本の若者の個性的なヘアスタイルは海外の観光客から羨望されることが多いと聞き、海外に駐在する日本人ビジネスマンの奥様が駐在先の美容院に満足できないという話も聞く。日本の美容師の技術は世界的にも高く評価されていて、私の親しい美容師は頻繁に海外に渡航して現地の美容師に美容技術を教えている。まさにクールジャパンそのものののだが、美容についてクールジャパン推進会議では特段議論が進んでいないように見える。個人的には、アニメやゲームなどのポップカルチャーよりも重要なテーマだと思っている。

美容免許の保有者は117万人で、その6割にあたる70万人が美容業に従事していないそうだ。もったいない。日本を訪れた観光客には、是非とも素晴らしい腕をもつ日本の美容師の施術を受け、格好良く、可愛くなって国に帰って頂きたいと思う。日本の美容師の就業機会も増え、更なる技術向上への動機も生まれるだろう。日本株で大儲けした海外投資家の皆さん、いま世界一ホットでクールな日本へ美容の旅に出かけてみては如何でしょうか。



佐谷宣昭 Nobuaki Satani

1972年生まれ。九州大学工学部建築学科卒業。2000年九州大学大学院人間環境学専攻博士課程修了、博士(人間環境学)。翌月起業。株式会社パイドビット社長CEO。明日の豊かな情報生活に貢献したいとの想いから、「情報資産の銀行」の必要性を説く。官公庁や都市銀行、小売業など3067の事業者に情報資産プラットフォーム「スパイラル(R)」を提供中。

株式会社パイドビット  
東京都港区赤坂2丁目9番11号  
03-5575-6601(代表) <http://www.pi-pe.co.jp/>